



令和3年2月24日

## 水産系高校に対し、安全体感教育訓練を実施

関東運輸局では、昨年10月から12月に3回に分けて、管内水産系高校の生徒23名に対し、船内での危険防止に資する「安全体感教育訓練」を実施しました。

関東運輸局は、管内の下記水産系高校生徒23名に対し、三井E&S造船(株)千葉工場 安全研修センターにおいて、安全体感教育訓練を実施しました。

この取組は、国内物流の根幹である内航海運の次世代を担う若年船員の確保・育成が課題となっている中、内航船員の供給源である水産系高校の生徒が船員として就業するにあたって船内等で起こりうる危険体験を擬似的に体験し、今後の現場での危険防止に役立てることを目的として実施しているものです。

当日は、ビデオ学習の後、安全帯ぶらさがり体感、墜落衝撃、飛来落下、梯子転倒、挟まれ、荷揺れ危険、爆発火災等全部で24項目の体感研修が行われました。

年 月 日	学 校 名	参加者の内訳
令和2年10月20日(火)	神奈川県立海洋科学高等学校	生徒8名(教諭1名)
令和2年10月22日(木)	神奈川県立海洋科学高等学校	生徒6名(教諭1名)
令和2年12月14日(月)	千葉県立館山総合高等学校	生徒9名(教諭2名)

### 安全帯下がり体感



### 吊り荷挟まれ体感(革手)



研修後の感想としては、「指差呼称の重要性を改めて感じた。」、「見た目には危険そうに見えなくても体感してみると危険さがよく分かった。」、「今までの安全に対する考えが足りていなかった。」など、安全意識の高揚に役立ったという感想が多く寄せられました。

関東運輸局としては、今後も水産系高校生に対し安全体感研修やインターンシップを実施し、船員になるための一助となるよう努めてまいります。



【問い合わせ先】

国土交通省関東運輸局海事振興部船員労政課 担当：齊藤、渡邊



電話：045-211-7231

## 令和2年度 安全体感教育訓練 理解度アンケート結果

